

【投稿規程】

研究論文・資料等の投稿を希望される方は、以下の規程に従って投稿してください。

1. 投稿は原則として日本遊戯療法学会会員に限る。ただし編集委員会の決定により、会員外の著者に寄稿を依頼することができる。
2. 投稿論文の内容は未公開のものに限る。
3. 研究論文・資料には、和文および英文の要約をつける。和文は 400～600 字、英文 (ABSTRACT) は 200 語程度 (論題, 氏名・所属, キーワード, を含む) とする。また英語の専門家の校閲を経ていること。
4. キーワードは 5 つ以内とする。
5. 形式は、①題名, ②著者名, ③所属, ④日本文要約, ⑤キーワード, ⑥本文 (⑥´「付記」), ⑦文献, ⑧英文要約の順序とする。なお、①②③④⑤⑧は 1 行 40 字の横書き, ⑥⑦は 40 字×30 行の横書きとする。すべてワープロソフトを使用して A4 判の用紙に印字する。
6. 論文の長さ (図・写真・表を含む) は全体 (⑥+⑦) で、**本誌 10 頁分として、16,000 字以内とする (40 字×30 行のフォーマットで 13.3 枚以内。ワード等の文字カウントは使用しないこと)**。図・写真・表が入る場合は、誌面に掲載する大きさを想定したうえで字数に換算し、論文全体の長さが所定の字数を超えないように注意する。
(参考) 本誌 1 頁は約 400 字×4=1,600 字である (たとえば、図表を半頁大で掲載したい場合は、800 字分として換算し、本文の字数を調整する)。
7. 図・写真・表は 1 頁あたり 3 個以内を目安とし、鮮明で印刷しやすい形にして提出する。また、図 1, 表 1 というように通し番号をつけ、それぞれに題と内容を原則として和文で記載する。
8. 記述は、新かなづかい、常用漢字、算用数字を用い、読点は「,」、句点は「。」とする。
9. 見出しの階層は、原則として以下の表記を用いる。
I ……、1. ……、1) ……
10. 度量衡の単位は原則としてメートル法を用い、mm, cm, mg, kg などと記す。
11. 外国の人名や地名などの固有名詞は、原則として原語を用いる。その他の外国語はなるべく訳語を用いること。外国語を用いる場合は、初出の際訳語に引き続いて () で原語を示すものとする。
12. 文献の記述形式は、以下のとおりとする。
(1) 本文中に文献を引用した場合は、引用した箇所を「」でくくり明示すると同時に、著者名と公刊年を記載すること。
a) 本文中に、著者名を記載する場合

神田橋 (1989) は、「〇〇〇」と述べている。

b) 引用終わりに、著者を示す場合

「〇〇〇」(神田橋, 1989)。

c) 訳本の場合には、原典の発行年と訳本の発行年を、“/”で併記する。

本文中記載：Winnicott (1971/1979) 引用未記載：(Winnicott, 1971/1979)

d) 著者が複数いる場合には、筆頭者のみを挙げ、和文献であれば“ら”，洋文献であれば，“et al.”を用いる。

〈和文献の例〉本文中記載：安永ら (2004) 引用未記載：(安永ら, 2004)

〈洋文献の例〉本文中記載：Ainsworth et al. (1978) 引用未記載：(Ainsworth et al., 1978)

(2) 引用文献は、本文の終わりに「文献」の見出しで、著者の姓を規準にしてアルファベット順に一括して記載すること。

a) 雑誌の場合：著者名、公刊年（西暦）、論題、誌名、巻（太字）、号、記載頁の順序による。なお、雑誌名の記載に際しては、和・欧いずれの場合でも、「心研」[*J. Clin. Psychol.*]といったような略記をしてはならない。

〈洋雑誌例〉

Bick, E. (1986) : Further considerations on the function of the skin in early object relations. *British Journal of Psychotherapy*, 2(4), 292-299.

〈和雑誌例〉

安永彰子・朝長美智子 (2004) : 場面緘黙児への遊戯療法と母親への並行面接. 遊戯療法学研究, 3(1), 43-52.

b) 単行本の場合：著者名、公刊年（西暦）、書名、発行所の順序とする。ただし編者と担当執筆者の異なる単行本の場合は、該当執筆者を筆頭にあげ、以下、公刊年、論題、編者名、書名、発行所、頁の順とする。

〈洋書例〉

Ainsworth, M. D. S., Blehar, M. C., Waters, E., & Wall, S. (1978) : *Patterns of attachment*. Hillsdale: Lawrence Erlbaum Associates.

〈和書例〉

神田橋條治 (1989) : 精神療法 1 神経症. 土居健郎・笠原嘉・宮本忠雄・木村敏 (編) : 異常心理学講座IX 治療学. みすず書房, pp. 71-118.

〈訳本例〉

Winnicott, D. W. (1971) : *Playing and reality*. London: Tavistock Publications. 橋本雅雄訳 (1979) : 遊ぶことと現実. 岩崎学術出版社.

c) 著者名を基準にした一括記載の場合、同一著者で2種以上の文献がある場合は発刊年度の早いものから順に並べる。さらに同年に同一人の2種以上の文献がある場合には、1980a, 1980bのように区別して記載すること。

13. 事例の記述に際しては、原則として終結事例（中断事例を含む）とし、連絡等が取れな

い場合を除き、クライアント本人（あるいは保護者）の同意を得ること。所属・関連機関等に倫理委員会がある場合は、その承認を得ること。倫理委員会がない場合には、所属機関等の所属長の許可を得ていること。こうした倫理面の配慮について論文中に明記すること。以上の点に十分配慮すること。

14. 謝辞を記載する場合は、本文の終わりに一行あけ、「付記」の見出しで書く。
15. 投稿にあたっては、ホームページ掲載の「投稿票」に研究論文、資料などの別を明記し、投稿原稿（正）1部、そのコピー2部（副）、計3部と、投稿原稿のデータが入った電子媒体を『遊戯療法学研究』編集局宛に提出する。提出は受け取りが確認できる方法（簡易書留、レターパック、宅配便など）で送付する。あわせて、ホームページ掲載の「執筆者の活動領域および経験年数」も同封する。
16. 投稿を受理された論文の著作権は、投稿者の委託を受け日本遊戯療法学会が保有する。なお、『遊戯療法学研究』に掲載された論文は電子媒体等を含め、学会の許可なく無断で複製・転載してはならない。
17. 研究論文・資料の執筆者には、抜刷としてPDFを贈呈する。
18. カラー図版の掲載を希望する場合はカラー掲載料を、要約部分の専門家による英文校閲を希望する場合はその費用を、それぞれ投稿者が負担する。

付則) この投稿規程は令和4年11月13日より施行する。